

### 近現代 NO5 明治時代の外交

#### NO35 欧米文化の摂取 2004 追試

- I 岩倉具視を全権大使とする遣外使節団が、欧米に向けて出発した。
- II 多くの外国人教師を指導者として招き、東京大学が開設された。
- III 鹿鳴館が、外国要人接待の社交場として使用された。

答⇒ I → II → III I 岩倉使節団は、廃藩置県(1871年)直後に派遣され、条約改正の予備交渉とともに欧米を視察した。II 東京大学は開成学校と医学校を併合して設立され(1877年)、西洋の知識を学んだ。III 鹿鳴館は井上外相の欧化政策の中で建設された(1880年代)。

#### NO36 明治期のアジア外交 2001 本

- I 天津条約が結ばれ、日清両軍の朝鮮からの撤兵などが定められた。
- II 日本は江華島事件を機に朝鮮との間で日朝修好条規を結んだ。
- III 朝鮮で国王の父大院君が閔氏一族から政権を奪おうとし反乱を起こしたが失敗した。

答⇒ II → III → I。II 日朝修好条規(1876)の締結により朝鮮を開国させた。その後、親日開化派の台頭から攘夷派の大院君が壬午軍乱(1882)を起こした。朝鮮の独立党による甲申事変(1884年)に日清両国が介入し、日清関係が悪化した。天津条約(1885年)で調整した。

#### NO37 条約改正 2014 本

条約改正問題について述べた次の文 X・Y と、それに該当する人物名 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X この人物が外務大臣のときに、ノルマントン号事件がおこり、領事裁判権撤廃の世論が高まった。
  - Y この人物が外務大臣のときに、領事裁判権撤廃と関税自主権の一部回復を定めた日英通商航海条約が調印された。
- a 伊藤博文    b 井上馨    c 寺島宗則    e 陸奥宗光

- ① X-a Y-c    ② X-a Y-d    ③ X-b Y-c    ④ X-b Y-d

正解→④

#### NO38 東アジア外交 2006 本

明治政府は、成立直後から東アジアに向けて活発な外交を展開した。清国とは 1871 年に国交を結んだが、朝鮮との通交は容易に実現できなかった。そのため、1875 年、日本は江華島事件を起こして朝鮮を開国させ、【ア】を締結した。

1894 年、【イ】が起こると、朝鮮をめぐる対立していた日本と清国は、朝鮮に出兵し、日清戦争がはじまった。

問 空欄【ア】【イ】に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 第1次日韓協約    イ 甲申事変
- ② ア 第1次日韓協約    イ 甲午農民戦争

- ③ ア 日朝修好条規    イ 甲申事変
- ④ ア 日朝修好条規    イ 甲午農民戦争

正解→④

#### NO39 1880 年代後半 2004 追試

1880 年代後半になると、日本では食糧需要の増大にともない穀物輸入量が増加した。1889 年には、日本への穀物輸出を朝鮮で禁止したことが原因となって、【ア】事件が起こっている。また、台湾を植民地化したのち、日本の大資本が【イ】業に進出し、その製品は米穀と並んで日本内地への有力な移出商品となった。

問 空欄【ア】【イ】に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 防穀令    イ 製粉    ② ア 江華島    イ 製粉
- ③ ア 防穀令    イ 製糖    ④ ア 江華島    イ 製糖

正解→③製糖業は砂糖の産地として育成された植民地台湾で発展した。

#### NO40 日清戦争の講和条約 2009 追

日清戦争の講和条約に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 条約交渉の日本全権は伊藤博文・陸奥宗光であった。
- ② 日本は台湾と澎湖諸島を割譲させた。
- ③ 日本は遼東半島を割譲させたが、のちに返還した。
- ④ 日本は清からの賠償金をもとに官営富岡製糸場を設立した。

正解→富岡製糸場が間違いだと指摘できなければ貴方だけだと思って落ち込むがよい。④

#### NO41 明治期のアジア外交 2001 本試 年代整序

- I 天津条約が結ばれ、日清両軍の朝鮮からの撤兵などが定められた。
- II 日本は江華島事件を機に朝鮮との間で日朝修好条規を結んだ。
- III 朝鮮で国王の父大院君が閔氏一族から政権を奪おうとし反乱を起こしたが失敗した。

答⇒【解答】[ II → III → I ] II 日朝修好条規(1876)の締結により朝鮮を開国させた。その後、親日開化派の台頭から攘夷派の大院君が壬午軍乱(1882)を起こした。朝鮮の独立党による甲申事変(1884年)に日清両国が介入し、日清関係が悪化した。天津条約(1885年)で調整した。

#### NO42 明治期の朝鮮半島情勢 2012 本試

明治期の朝鮮半島をめぐる日本・朝鮮・中国の関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日本は征韓論を唱えていた西郷隆盛を朝鮮に派遣し、開国を迫った。
- ② 日本は朝鮮政府と、治外法権を相互に認めるなど、対等な内容の日朝修好条規を結んだ。
- ③ 金玉均らは日本公使館の援助のもとにクーデターを起こしたが、清国軍の出動で失敗に終わった。
- ④ 朝鮮政府が甲午農民戦争のため日本に出兵を依頼すると、清国も対抗して朝鮮に出兵した。

正解→西郷は朝鮮に行っていない。修好条規は不平等条約である。③が正解。④朝鮮は清に出

武器としての日本史

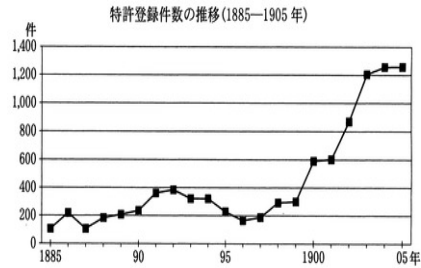
Pain is inevitable Suffering is optional

兵を依頼した。

NO43 不平等条約の改正 2013 本試 資料読み取り 難問

(前略)また当初、外国人には特許権を認めていなかった。その後、治外法権(領事裁判権)の撤廃にかかわる不平等条約改正の交渉過程で、(c)外国人の特許権取得も認められるようになった。1899 年の特許法の制定など、法的な整備も進み、特許制度は、経済活動の基礎を支える制度として、産業の発展や科学技術の振興に大きく貢献した。

問 4 下線部(c)に関連して、特許登録件数を示す次のグラフと表に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



日本人			外国人		
順位	分類	登録件数	順位	分類	登録件数
1	農具	53	1	鉄砲	37
2	点灯具	47	2	車両	25
3	文機	38	2	化学薬品・製品	25
4	織機	37	4	蒸気機関	23
5	養蚕具	32	5	伝動装置	19

(特許庁編『工業所有権制度百年史』により作成)  
(注) 特許の分類とその表記は、一部省略し、書き改めた。

これはかなり正答率が低かった問題です。解答は④ですが、誤答は極端に②に偏っており、正答より選択率が高かったと思われます。Yの正誤判断は「日本人・外国人の特許登録件数上位5分類(1905年)」の表をみればわかるので多くの受験生が誤りと判断できたようです。問題はXです。「日英通商航海条約に調印した翌年」が調印した1894年の翌年、つまり1895年だとわかった人はグラフをみれば、「特許登録件数が上昇に転じた」というのが、むしろ減少していることから誤りだと判断できたでしょう。しかし、この問題は「1895年」がわからないと解けないのでしょうか。センター試験の方針から考えると、西暦年がわからないと解けない問題は基本的に出現しません。しかし、特許の歴史など事前に勉強している受験生はいないでしょう。そうすると、ヒントとしてもう一つリード文があります。リード文の「治外法権(領事裁判権)の撤廃にかかわる不平等条約改正の交渉過程で、外国人の特許権取得も認められるようになった」というところから、外国人の特許が認められたのは1880年代の井上馨外相・大隈重信外相の条約改正交渉の過程ではないかと推測できます。また、「1899年の特許法の制定」に注目すると、グラフでは1900年から急激に特許登録件数が増加しています。このあたりはヒントにならないでしょうか。

リード文をヒントにして考える問題は2006年の問題番号7にもありました。これも正答

率が低い問題でした。

●日清戦争

<p>1880年代 朝鮮問題</p>	<p>朝鮮問題 開国後の朝鮮…貿易は日本の輸出超過、米の買い付けで朝鮮国内は米不足 1882×【P1 壬午軍乱】 ⇒親日派の<b>閔妃一族</b>に対し、守旧派兵士が<b>大院君</b>を担いでクーデター 【P 済物浦】条約後、閔妃派は清とのつながりを強める 1884×【P 甲申事変】⇒閔氏親日派から親清派に転じたことに注目 <b>閔妃政權</b>(親清派)と【<b>独立党</b>】(親日派、【P 金玉均】ら)の対立 清仏戦争後にクーデター、清の干渉で失敗 漢城条約(1885、朝鮮) 1885【P 天津条約】…伊藤博文と李鴻章 日清両軍の朝鮮撤退、P【<b>将来の出兵時は相互通告</b>】 日本国内の世論の転換…福沢諭吉の【<b>脱亜論</b>】</p>
<p>1890年代 日清戦争</p>	<p>1889【P 防毅令】事件→朝鮮で凶作、大豆・米の対日輸出禁止で打撃 ⇒賠償金支払いで承認 1894×【<b>甲午農民戦争</b>】(朝鮮) ⇒東学が農民を率いて大規模な反乱に発展 【P <b>清が救援出兵、日本も対抗して出兵</b>】 ↓終了後も両軍が対峙 1894×【<b>日清戦争</b>】…豊島沖海戦などで開戦→宣戦布告 平壤の戦い、黄海海戦、大連・旅順占領、威海衛占領 戦局…日本の圧倒的優位、政党の政府批判中止、戦費は約2億円 1895【<b>下関条約</b>】 ⇒日本側全権—<b>伊藤博文</b>首相、<b>陸奥宗光</b>外相 清国側全権—【<b>李鴻章</b>】 内容 <b>清国は朝鮮独立の承認</b>、【<b>遼東半島</b>】・【<b>台湾</b>】・澎湖諸島 の割譲、賠償金【<b>2億両</b>】(3億1千万)支払 沙市、重慶、蘇州、杭州の開港</p>